

事務事業名		地域の環境学習交流支援事業		会計		一般会計		実施区分				
H28担当課等名		公民館		H28係等名		学習支援係		H27係等名		学習支援係		
基本計画上の位置づけ		政策 2		地育力によるこころ豊かな人づくり		施策 28		学習交流活動の推進				
目的	対象(誰・何を)	各地区住民(市民)						指標名及び単位		27年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	地域の中で身近な自然とのふれあいを通じて住民同士の交流を深め環境保全や改善に取り組む						対象指標		飯田市の人口(人)	101743	
	向上させたい上位施策の成果指標	学習活動を行っている市民の割合										
目標	種別	指標名及び単位				27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	講座等開催数(回)				105	103	100	-			
	成果指標	多様な講座、催しへの延べ参加者数(人)				4450	4418	4400	-			
定性目標												
事業概要	<p>各地区住民を対象とした身近な自然とのふれあいから学習を深め住民同士が共通の認識を持てる環境学習の展開。</p> <p>※この事業は前期基本計画(H19～23)で「環境学習推進事業」として施策54「自然とのふれあいと環境学習の推進」に位置づく事業として展開してきたが、後期計画(H24～)からは各地区で住民が身近な環境を学び保全活動などができる仲間づくりを主目的と整理して、施策28「学習交流活動の推進」へ位置づける。当該事業は、各地区公民館が展開する学級講座を主な内容とする。</p>											
事業内容				名称				活動指標				
27年度事業内容	地域の身近な自然とのふれあいから学習を深め住民同士が共通の認識の持てる環境学習の実施				1 講座等開催数				1 103回			
	(1)橋北公民館 省エネ講座				2 延べ参加人数				2 4,418人			
	(2)橋南公民館 環境講座ほか											
	(3)羽場公民館 探鳥会、親子エコクッキングほか											
	(4)丸山公民館 探鳥会、風越山を愛する会事業支援											
	(5)東野公民館 若草の里東野講座「環境講座」											
	(6)座光寺公民館 子ども桜ガイド、ホテルを見る会ほか											
	(7)松尾公民館 農業体験食育講座、ラフティング体験教室											
	(8)下久堅公民館 環境学習会											
	(9)上久堅公民館 環境学習会											
	(9)千代公民館 千代峠交流会											
	(10)龍江公民館 水辺の楽校											
	(11)竜丘公民館 水辺の学校、親子ふれあいハイキング											
	(12)川路公民館 学友林学習事業											
	(13)山本公民館 杵原広場整備作業											
	(13)伊賀良公民館 いがら農園											
(14)鼎公民館 打ち水大作戦、農業体験												
(15)上村公民館 野鳥観察会、星空観察会、省エネ講座ほか												
(16)南信濃公民館 ブッポウソウ保護活動、夏休み子ども講座ほか												
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		238	196	190	296							
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他												
一般財源		238	196	190	296							
人件費計(千円)②		6,450		6,450								
正規職員所要時間		1,508		1,508								
臨時職員所要時間		984		984								
総事業費①+②		6,688	196	6,640	296							
事業内容・目標達成状況の振り返り		子どもや親子、成人等さまざまな世代を対象として身近な環境問題から取り組んでいる。地球温暖化、気候変動問題など実際生活において直面する環境問題に対しては、今後も意図的な学習交流活動を推進するなど一層の展開を図ってきたい。										
改革改善の考え方	①問題点	自然とのふれあいなどを通じた環境学習から、地球規模での課題となっている地球温暖化・気候変動問題への意図的な学習活動の展開が必要である。										
	②改革提案	NPOなどの志縁団体や地域で環境問題に取り組む地縁団体等との連携を強化し、新たな視点での環境学習への取り組みを意識的に進める。										